

LTS-60/LTS-MAM 納入事例 鹿沼ケーブルテレビ株式会社 様

FOR.A[®]
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

栃木県鹿沼市内3万6千世帯のエリアにて、地域に密着した番組を始め、映画・ドラマ・スポーツ・音楽・アニメなどを幅広く提供している鹿沼ケーブルテレビ株式会社様。来年には開局 20 周年を迎えます。2014 年度の放送のハイビジョン化に伴い、LTO サーバ LTS-60 と管理ソフトウェア LTS-MAM を導入いただき、番組や素材のアーカイブ、二次利用に活用いただいています。



鹿沼ケーブルテレビ株式会社
放送課 課長
野口 重彦 様

システム概要：

素材用アーカイブと完パケ用アーカイブの2システムを導入

素材用



担当それぞれが LTO カートリッジを 1 本持ち、各素材や白完は自分の素材として、仕事の合間をみてアーカイブしています。また、コミュニティチャンネルが 2 チャンネルあるので、各チャンネル用に制作で共有カートリッジを 2 本用意しています。週毎に番組の白完をアーカイブし、いつでも誰でも活用できるようにラベルを貼り、棚管理しています。メタ情報入力に関しては、この情報は必ず入力する、といったことや、タイトル・内容はどこの項目に入れるといったルールを決めています。



完パケ用



完パケ用としては送出のネットワークの中に LTS-60 を入れ運用しています。IBM のオートローダーも導入しました。LTO カートリッジが最大 24 本入りますが、現時点では 10 本のカートリッジが入っています。現状、完パケのアーカイブでは LTO-6 1 本で半年分の映像が収まります。カートリッジは第 1 チャンネル、第 2 チャンネルと分けずに、メタ情報に詳細を入力しています。検索すれば出てくるので、カートリッジで分ける必要がなく、LTS-MAM は使いやすいですね。



導入のポイント：

コミチャンの完パケも素材も1つの財産。二次利用で上手く活用できる仕組みを考えた

完パケ、素材の二次利用



コンパクトなシステム



番組自動送出システムとの連携

導入後の効果：

LTS-MAM で検索すれば あっという間に探しているものが出てくる

例えば、ある団体のイベント時に、過去にその団体が行ってきた形跡を編集の中に入れていた時など、昔の素材を使用することが多々あります。LTS-MAM で検索すればあっという間に見つけることができ、なおかつプロキシを見ながら必要な部分だけを切り取って編集機にネットワークで送ることができます。テープやブルーレイだと、そのメディアに入っているのはわかっていても一回再生して見ないといけないので、LTS-MAM を使うことで便利になりました。

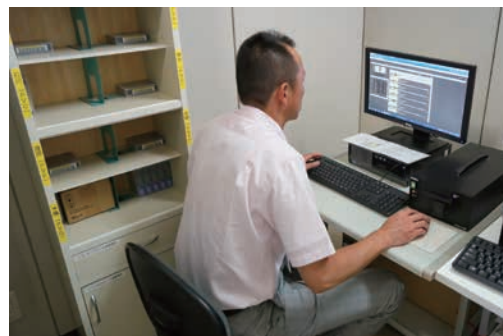
ナレーション原稿を映像と一緒に保管 できるのも非常に便利のところ

メタ情報の入力時に、ナレーション原稿や撮影で使った資料などを添付できるのも非常に便利だと思っています。例えば、花火大会などでリポーターが喋るナレーションを昨年の原稿を参考にしよう、という時に映像に紐づけておけばすぐに活用できます。

今後：

VATICとの連携を検討中

ビデオテック社製の番組自動送出ソフト VATIC と連携することで、番組タイトル、クリップ ID、ディレーションなどのデータがメタ情報として自動的に LTS-MAM へ入力される仕組みを導入する予定です。



アーカイブ

マルチチャンネルビデオサーバ

LTS-60



- LTO-6、LTO-5 カートリッジに対応
- ノンニアプロジェクトデータなどのバックアップ・アーカイブ
- 4K ファイルのアーカイブメディアとして LTO を利用可能
- LAN 環境で共有可能な小型・安価なアーカイブ環境を提供
- Windows、MacOS X から FTP クライアントソフトを使って LTO の読み書きが可能
- メタデータを書き込むことで、素材管理システムへの登録や、ファイルの受け渡しも可能
- コーデックオプションにより、アーカイブ時にサムネイル、プロキシファイルの自動生成、また LTO 上から必要範囲のみを抜き出すパーシャルリトリブ機能を追加可能

-Apple ProRes QuickTime/MOV (LTS-PRS) **NEW** **4K ULTRA HD**

-XAVC™ MXF ファイル (LTS-XAVC) **4K ULTRA HD**

-MPEG-2 MXF ファイル (LTS-SX)

-P2 互換 MXF ファイル (LTS-PAD)

-Avid DNxHD® MXF ファイル (LTS-DNxHD)

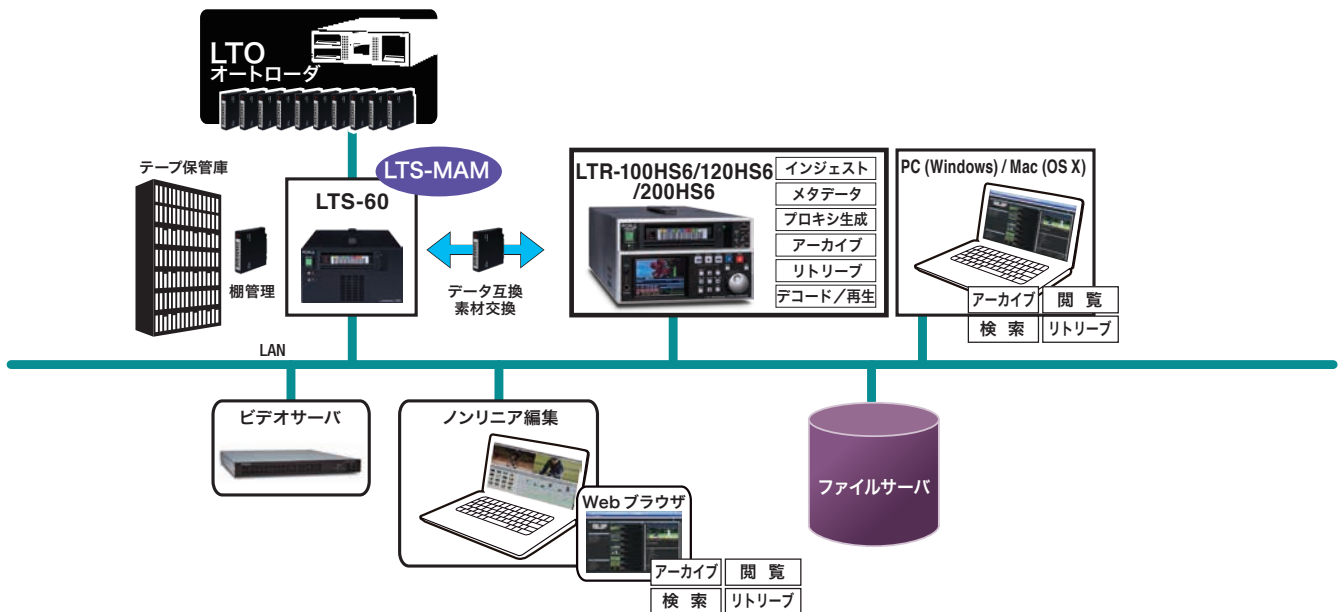
素材管理オプション

LTS-MAM



- LTS-60 本体に MAM 機能を搭載 (オプション)
- MXF ファイル、任意のファイル、フォルダにメタデータを付与してアーカイブが可能
- コーデックオプションの追加で MXF ファイルからサムネイル・プロキシファイルを自動生成
- 新たにメタデータ付でファイルを登録するほか、LTR-100HS6、LTR-120HS6、LTS-60 で作成した LTO カートリッジのメタデータを自動登録
- IBM 製 LTO オートローダと SAS ケーブル 1 本で簡単接続 (オプション)
- LTO オートローダーと棚置きを併用した一元管理が可能
- 登録素材のダウンロードや MXF パーシャルリトリブの一括処理が可能
- 小型・安価なシステムのため、小規模アーカイブに最適
- クライアント PC への専用アプリのインストールが不要

LTS-60/LTS-MAM を用いたファイルベースワークフローイメージ



※ XAVC および XAVC ロゴはソニー株式会社の商標です。
Avid DNxHD は米国における Avid Technology, Inc. またはその子会社の登録商標です。

FOR-A®

INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY

<http://www.for-a.co.jp/>

- 本 社 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-8-1
- 関西支店 〒530-0055 大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル
- 札幌営業所 〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16
- 東北営業所 〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル
- 中部・北陸営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル

- Phone 03-3446-3121 (代)
- Phone 06-6366-8288 (代)
- Phone 011-898-2011 (代)
- Phone 022-268-6181 (代)
- Phone 052-232-2691 (代)

- 中国営業所 〒730-0012 広島市中区上八丁堀 5-2 KM ビル
- 九州営業所 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル
- 沖縄営業所 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル
- 佐倉研究開発センター 〒285-8580 千葉県佐倉市大作 2-3-3
- 札幌研究開発センター 〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16

ISO9001 取得
ISO14001 取得 (佐倉)R&D

- Phone 082-224-0591 (代)
- Phone 092-731-0591 (代)
- Phone 098-860-4178 (代)
- Phone 043-498-1230 (代)
- Phone 011-898-2018 (代)